

一般社団法人 日本私立薬科大学協会

令和元年度 事業報告書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

I. 事業の概要

6年制薬学教育が平成18年度に導入されて以来10数年が経過する中、平成25年度に改訂された薬学教育モデル・コアカリキュラム（以下「改訂コアカリ」という。）に基づく新たな薬学教育が平成27年度から進められている。また、平成31年2月からは、改訂コアカリに基づく実務実習が開始されたところであり、円滑な実務実習の実施に向けて、協会及び各大学等が連携して取り組んでいるところである。

この間、実務実習、薬学共用試験及び薬学教育第三者評価の実施等様々な課題について、日本私立薬科大学協会（以下「協会」という。）の理事会、総会及び各種委員会を中心に検討を行うと共に、全国薬科大学長・薬学部長会議、文部科学省及び厚生労働省等の調査等に対応したところである。

なお、我が国における新型コロナウイルスの感染者が令和2年1月に発生以来、感染拡大が懸念される中、薬系大学の多くが卒業式や入学式等の中止を余儀なくされた。現在もなお感染拡大が続いており、新型コロナウイルスの一日も早い終息を願っているところである。

個々の事業内容については以下のとおりである。

1. 教育、研究に関する調査、検討

(1) 教育、研究体制等の整備について

6年制薬学教育に関する諸問題について調査・検討を行うと共に、薬学4年制課程の在り方等について、調査、検討を行った。

また、全国薬科大学長・薬学部長会議、薬学教育協議会、薬学共用試験センター及び薬学教育評価機構等との情報の共有を図った。

(2) 実務実習について

本年度も実務実習に関する諸問題について検討を行った。

また、改訂コアカリに基づく実務実習の課題と対応について、第11回「薬学実

務実習に関する連絡会議」(令和元年12月13日開催)において議論された。

このほか平成30年度実務実習実態調査を実施する共に、その結果を踏まえ、薬学教育協議会で検討することとなった。

(3) 薬学共用試験について

令和元年度薬学共用試験(CBT、OSCE)の実施状況及び薬学共用試験の課題等について報告を受け、協会として検討し了承した。

(4) 薬学教育第三者評価について

薬学教育評価機構の活動状況等について報告を受けた。

(5) 薬剤師国家試験問題に関する検討について

第104回薬剤師国家試験(平成31年2月23日・24日実施)を受けて、協会の検討7部会(「物理・化学・生物」、「衛生」、「薬理」、「薬剤」、「病態・薬物治療」、「法規・制度・倫理」、「実務」)の検討結果を踏まえ、「薬剤師国家試験問題検討委員会」で調査検討を行い、報告書を協会会長名で厚生労働省へ提出した。(令和元年7月3日付)

また、厚生労働省医道審議会「薬剤師国家試験事後評価部会」において、協会の「薬剤師国家試験問題検討委員会」の中から2名の推薦を受け、同事後評価部会(令和元年8月19日開催)において、参考人として意見を述べた。

2. 協会の管理運営等

(1) 役員任期満了に伴う役員選考手続き等について

現役員任期満了(令和2年6月総会まで)に伴う役員選考日程及び手順等及び内規の一部改訂案については、第2回通常総会(令和元年11月26日開催)において承認された。

(2) 役員(理事)の補充人事について

平成31年3月31日付理事辞任に伴う2名の補充人事については、第54回理事会(令和元年5月14日開催)及び第1回通常総会(令和元年6月4日開催)において承認された。

(3) 平成30年度事業報告・決算及び監査報告について

平成30年度事業報告・決算及び監査報告については、平成31年4月23日の監事監査を受け、令和元年6月4日開催の第1回通常総会において承認された。

(4) 令和2年度事業計画及び収支予算について

令和2年度事業計画及び収支予算については、令和元年11月26日開催の第2回通常総会において承認された。

(5) 会長及び副会長の職務執行状況の報告について

会長及び副会長の職務執行状況については、第55回理事会（令和元年6月4日開催）、及び第59回理事会（令和元年11月26日開催）において報告した。

(6) 令和元年度教育賞の授与について

毎年度、薬学教育に多大な貢献をし、薬学教育の進歩発展に特に功績のあった者に対し、日本私立薬科大学協会教育賞を授与しているが、本年度は1名を選考し、令和元年11月26日開催の第2回通常総会終了後に、教育賞を授与した。

また、これを機に、本教育賞の英文表記を定めた。

(7) 学生の入学定員及び入学者数の取扱いについて

今後の学生入学定員の遵守について協議した結果、昨年同様、「入学定員と入学者数が等しくなるよう、厳正な定員管理を徹底する」ことを申し合わせた。

また、入学者数が入学定員の1.1倍以上の大学については、入学定員超過の理由及び今後の対応等について協会宛に文書が提出された。

(8) 各種調査資料の作成について

例年通り、学生及び教職員数、学生納付金、入学志願者の動向、及び卒業生の就職状況等の実態調査を行い、協会及び各大学の参考資料とした。

(9) 会報（「日本私立薬科大学協会だより」）の刊行について

当協会が発行する会報「協会だより」では、事業活動状況（諸会議議事録、各種調査結果等）、事業計画・報告、収支予算・決算及び大学紹介等の内容を掲載し、年2回各大学へ配布した。

(10) 広報活動について

6年制薬学教育への理解及び普及を図るため、昨年度に引き続き「6年制薬学ガイド2020」を刊行すると共に、学年の早い時期から活用できるよう同「2021」を前倒しして本年度末に刊行した。これを全国の高校、大学及び関係団体等にも配布した。

また、来年度についても引き続き刊行することが了承された。

(11) 令和元年度「大学における医療人養成の在り方に関する調査研究」の採択等について

文部科学省公募の標記調査研究については、日本私立薬科大学協会が窓口となり、国公立大学、薬学関係団体等との連携の下公募申請を行い、令和元年12月末に採択された。

3. その他

- ・各種会議等の開催通知及び会議用資料の作成等を行った。
- ・法定帳簿等の整理及び確認を行った。

4. 関連事項

(講演会)

- ・令和元年6月4日(火)開催(第1回通常総会)

～ 安川 孝志 様による講演

(厚生労働省 医薬・生活衛生局総務課 薬事企画官

(テーマ)「今後の薬剤師に期待すること(薬学教育にお願いしたいこと)」

- ・令和元年11月26日(火)開催(第2回通常総会)

～ 島原 佑基 先生による講演

(エルピクセル(株) 創業者 代表取締役 (CEO))

(テーマ)「医療におけるAI活用の現状と将来」

(文部科学省、厚生労働省、関係団体)

- ・ 第11回「薬学実習に関する連絡会議」(令和元年12月13日開催)が文部科学省で開催され、改訂コアカリに準拠した実務実習の実施状況及び課題と対応等について、文部科学省や薬学教育協議会が行った調査結果を基に、報告及び

協議が行われた。

- ・ 第19回「新薬剤師養成問題懇談会」（新六者懇）（令和2年2月10日開催）が厚生労働省で開催され、薬学教育6年制及び薬剤師に関する状況等について協議が行われた。
- ・ 令和元年度「文部科学省薬学教育指導者のためのワークショップ」が、令和元年9月6日、慶應義塾大学薬学部芝共立キャンパスで開催された。
- ・ 厚生労働省が令和元年9月12日付で公表した「医薬品販売制度実態把握調査」の中で、「濫用等の恐れのある医薬品」の販売ルールを遵守していない店舗等の取り扱いについて協議した結果、全国薬科大学長・薬学部長会議の会長名で、関係する3団体（日本薬剤師会、日本チェーンドラッグストア協会、日本保険薬局協会）に対し要望書を提出することで申し合わせた。

(その他)

- ・ 第4回「日本薬学教育学会大会」が、令和元年8月24日・25日の両日、大阪大学豊中キャンパスで開催された。
関連して同大会について、協会の後援名義を承認した。
- ・ 第5回「日本薬学教育学会大会」（令和2年9月12日・13日、帝京大学板橋キャンパスで開催）について、協会の後援名義を承認した。
- ・ 令和2年度「薬学実務実習広報用ポスター」（薬学教育協議会）について、協会の後援名義を承認した。

Ⅱ. 理事会・総会等開催状況

| 会 議 名 | 開 催 月 日 | | 開 催 場 所 |
|-------------------|-------------|-----|-----------|
| (理事会) | | | |
| 第54回 理事会 | 令和元. 5. 14 | (火) | アルカディア市ヶ谷 |
| 第55回 理事会 | 令和元. 6. 4 | (火) | 〃 |
| 第56回 理事会 | 令和元. 7. 2 | (火) | 〃 |
| 第57回 理事会 | 令和元. 9. 24 | (火) | 〃 |
| 第58回 理事会 | 令和元. 11. 5 | (火) | 〃 |
| 第59回 理事会 | 令和元. 11. 26 | (火) | 〃 |
| 第60回 理事会 | 令和 2. 3. 3 | (火) | 〃 |
| | | | |
| (総 会) | | | |
| 令和元年度 第1回 通常総会 | 令和元. 6. 4 | (火) | アルカディア市ヶ谷 |
| 令和元年度 第2回 通常総会 | 令和元. 11. 26 | (火) | 〃 |

Ⅲ. 各種委員会開催状況

| 委員会名 | 開催月日等 | | 開催大学等 |
|--|-------------|-----|-----------------------|
| 部局長会議 | | | |
| 第38回 事務局長会議 | 令和元. 7. 12 | (金) | 愛知学院大学 |
| 第39回 教務部長会議 | 令和元. 11. 8 | 〃 | 帝京平成大学 |
| 第39回 学生部長会議 | 令和元. 11. 29 | 〃 | 愛知学院大学 |
| | | | |
| 薬剤師国家試験問題 検討委員会 | | | 委員長 (大学名) |
| 物理・化学・生物部会 | 令和元. 5. 11 | (土) | 摂南大学 |
| 衛生部会 | 〃 | 〃 | 東邦大学 |
| 薬理部会 | 〃 | 〃 | 北陸大学 |
| 薬剤部会 | 〃 | 〃 | 神戸学院大学 |
| 病態・薬物治療部会 | 〃 | 〃 | 横浜薬科大学 |
| 法規・制度・倫理部会 | 〃 | 〃 | 日本大学 |
| 実務部会 | 令和元. 5. 18 | 〃 | 東京薬科大学 |
| 第1回薬剤師国家試験問題 検討委員会 | 令和元. 6. 14 | (金) | アルカディア市ヶ谷 |
| 教育賞受賞者選考委員会 | | | |
| 第1回 受賞者選考委員会 | 令和元. 7. 2 | (火) | アルカディア市ヶ谷 |
| 第2回 受賞者選考委員会 | 令和元. 11. 5 | 〃 | 〃 |
| 広報誌編集委員会 | | | |
| 第1回 編集委員会 | 令和元. 7. 2 | (火) | アルカディア市ヶ谷 |
| 第2回 編集委員会 | 令和元. 9. 26 | 〃 | 〃 |
| 第3回 編集委員会 | 令和元. 12. 6 | 〃 | 東京ガーデンパレス |
| 第4回 編集委員会 | 令和2. 1. 14 | 〃 | 薬科大学協会事務局 |
| 教育研究問題検討委員会 | | | |
| 第1回拡大教育研究問題 検討委員会 (薬学4年制課程 の在り方等に関する検討会) | 平成31. 4. 9 | (火) | 慶應義塾大学薬学部 芝共立キャンパス |

IV. 調査実施項目（調査対象：薬科大学・薬学部）

1. 平成30年度 卒後教育実施状況調
2. 平成30年度 卒業生進路調（平成31年3月卒業生）
3. 平成30年度 大学院修了者進路調（平成31年3月修了者）
4. 平成30年度 実務実習実態調査
5. 令和元年度 入学志願者動向調（志願者、合格者、入学者等）
6. 令和元年度 学部入学志願者数等調
7. 令和元年度 大学院入学志願者数等調
8. 令和元年度 入学定員及び入学者数調
9. 令和元年度 学生数調（学部学生・大学院生）（令和元年5月1日現在）
10. 令和元年度 専任教員及び職員数調（令和元年5月1日現在）
11. 令和元年度 在学生（3年生）出身校都道府県別調（令和元年6月1日現在）
12. 令和2年度 学部学生納付金調
13. 令和2年度 大学院生納付金調

※新型コロナウイルスに関連した対応

- ・入学式等各種行事の開催状況調（令和2年3月9日現在）